

小倉南区制 45 周年記念

「小倉南区かるた」製作にあたり

昭和 49 年 4 月 1 日、行政区再編により誕生した小倉南区は、平成 31 年 4 月 1 日をもって 45 周年を迎えました。

この「小倉南区かるた」は、小倉南区制 45 周年記念事業として製作したものです。

製作にあたっては、小倉南区の魅力を発信するとともに、区民の皆さんに小倉南区を愛し、誇りに感じ、いつまでも住み続けたいと思っていただけるよう、区民参加型の「小倉南区かるた」を目指しました。

読み句と取り札の画像は小倉南区の自然や食、歴史、伝統行事、文化、偉人等を題材に広く公募し、6 歳から 94 歳まで、また区内だけではなく区外のたくさんの方から応募いただきました。

この「小倉南区かるた」には、子どもたちが楽しく遊び、その中で小倉南区の魅力や歴史・文化を「学び知る」ことで、より一層「わがまち・小倉南区」を好きになってほしいとの願いも込められています。

そのため、かるた遊びだけでなく、取り札の裏に書かれている説明文も読んでいただきたいと思います。

また、大人の方も小倉南区をぜひ再発見してください。

小倉南区役所

【あ】 安部山の ふもとにそびえる 清麻呂像

和気清麻呂像

安部山のふもとに位置する水神社に和気清麻呂像が建立されている。和気清麻呂は、奈良時代、えん罪により足の筋を切断され、湯川の霊泉で傷を癒したと言われている。かつて 10 円札の肖像人物にも使用された偉人である。

【い】 泉は湧き 繁るガジャモク 糸偲ぶ

ガジャモク

ガジャモクとは、ヒルムシロ科に属する多年生の水生植物。環境省レッドリストでは絶滅危惧種に指定されている。殖芽と呼ばれる栄養を蓄えた地下茎から新しい茎(当年茎)を伸ばして成長し、初夏に水面上に花を咲かせる。西日本で唯一自生しているのは、呼野のお糸池だけである。

【う】 梅の花 三岳梅園 春を呼ぶ

三岳梅林公園

昭和天皇ご成婚記念として、合馬地区の三岳にある護聖寺の茶園だった土地に地元の人々

が、350本の白梅、紅梅を植えたのが始まり、昭和54年に市が借地して開園。花の頃には手作り農産品を売る露店も出て梅見客で賑わう。

【え】 Fスケール 藤田博士の 頭文字

藤田博士

中曽根出身の藤田哲也博士は、アメリカのシカゴ大学で気象学の研究に取り組んだ。特に有名なものは、「Fスケール」の考案、「竜巻の二重構造」や「ダウンバースト」の発見であり、竜巻被害の減少と航空機離着時の事故防止に多大な貢献をした。

【お】 大潮に 間島繋がる 曾根干潟

曾根干潟

曾根干潟は、小倉南区の東側に広がる北九州市最大の干潟で、干潮時には沖合いに約5キロもの広大な干潟が現れる。多種多様な生物が生息し、冬には大陸から渡り取りが飛来する。また、大潮の干潮時には、沖の「間島」まで歩いて渡ることができる。

【か】 かくれみの ワラをかけあう しびきせ祭

しびきせ祭

横代地区の南に位置する隠蓑で行われる「しびきせ祭」は800年続く農耕祭事で「しび」とは藁のことである。源氏から追われていた安徳天皇を、庵寺の屋根の葺き替え中だった村人が、カヤやしび(ワラ)を安徳天皇に被せて隠した伝統に由来している。

【き】 季節織る ソメイヨシノの 昭和池

昭和池

東朽網校区の南西部に位置する昭和池は、周囲2.5キロメートル・面積11.6ヘクタールの池を取り囲むようにソメイヨシノが咲きほこり、「昭和池の千本桜」として親しまれている。池沿いの道は、貫山・水晶山・平尾台方面へ続く林道につながっている。

【く】 具だくさん 小倉みなみの 肉うどん

肉うどん

小倉南の肉うどんは、播りおろした生姜を入れて食べるのが特徴。40年近く伝統を守り続けるお店から、努力と研究を重ねて最近オープンしたお店まで10数店舗、地元根付いて頑張っている。

【け】 けいば場 馬が走るぞ みのがすな

JRA 小倉競馬場

前身は、明治40年に開設された戸畑競馬場。大正8年に三萩野に移転、昭和5年の北方への再移転を経て、現在に至る。3回以上の座席が全面ガラス張りの屋内席となっている。夏と冬の年2回レースが開催される。

【こ】 古墳など 遺跡の多い 吉田地区

吉田古墳群

吉田古墳群は、竹馬川の下流域、周防灘に面した下吉田集落の裏山墓地に広がる古墳時代後期の群集墳である。現在61基が確認されている。

【さ】 桜橋 空一面に こいのぼり

こいのぼりまつり

こいのぼりまつりは、平成16年から青少年の健全育成を願い、広徳・長行両校区の自治連合会によって始まった。すべて家庭で使われなくなったものを寄付いただいたもの。桜橋から眺める約700匹の鯉のぼりの姿は壮観。

【し】 新田の 風鎮汐留 神幸祭

曾根の神幸祭

曾根地区と朽網地区から7台の山車が参加。4月15日から5月3日まで開催され、五穀豊穰、風鎮汐留を祈願する祭り。一台の山車が「提灯山」「幟山」「人形飾山」への三様に変化する形式を持つ祭礼は、市内ではこの祭りのみ。

【す】 健やかに 育てや子らに 尻を振る

井手浦 尻振り祭

春の農作業を始める1月8日、ワラで作った大蛇が、二本の松の木に掲げられ、その大蛇の前に祭壇を設けて、宮司と保存会二人の計三人が、弓矢や弊などを尻に当て、海・山・川の掛け声に合わせて尻を振る。大きく振れば大豊作になると云われていて「もっと振れ、もっと振れ！」と賑わう。

【せ】 千仏の 自然の神秘 鍾乳洞

千仏鍾乳洞

千仏鍾乳洞は平尾台の東南端、標高300メートル付近に位置し、平尾台にある洞窟の中でも最大規模のもので、北東に向かって蛇行しながら約900メートル伸びている。入口には大小約30個の鍾乳石が垂れ下がり見事な景観を呈している。豊富な地下水は、現在も洞窟内部を侵食し続けている。

【そ】 曾根干潟 太古をしのぶ カブトガニ

カブトガニ

カブトガニはクモやサソリなどの鋏角類に属している。過去には瀬戸内海と九州北部の沿岸に広く生息していたが、現在では生息できる沿岸が激減し、ほとんど見るができない。カブトガニは古生代の仲間の風貌を色濃く残した「生きている化石」と呼ばれている。

【た】 帝踏岩 エアーズロックだ 朽網の地

帝踏岩

朽網にある帝踏岩は、一枚岩ではなく四、五個の大きな塊が連なっているもので、中央の岩の上に石碑が建てられている。景行天皇(日本武尊の父)が天皇に刃向かっていた民族を討伐する際、戦勝祈願をこの岩の上でしたのが名前の由来。

【ち】 竹林の 合馬の満月 かぐや姫

合馬

合馬は小倉南区の三谷地区の西谷に位置し、名産品の合馬竹の子や北九州市指定民俗文化財の合馬神楽などが有名である。昭和天皇ご成婚を記念して、紅白の梅の苗木を 350 本植えた三岳梅林公園も、地元青年団の奉仕で今では 1,100 本位増えている。

【つ】 堤守る お糸の献身 忘れまじ

お糸まつり

江戸時代、灌漑用水の不足に悩む呼野の里の堤防工事で人柱となった 14 歳の娘「お糸」を供養するまつり。お糸池での水神祭から始まり、大泉寺での法要やお糸供養踊り、呼野公園では子ども広場が催される。最後に打ち上げられる花火は見事。

【て】 天平の時代に 創建された 綿都美社(龍王社)

綿都美社(龍王社)

天平 6 年(734 年)創建。吉田の中心に位置し、海と風の神様を祭り、地域の産土神として地域の人々に親しまれている。明治維新後に社号を龍王社から綿都美社に改めた。

【と】 図書館は 本がつまった 南区の宝

小倉南図書館

平成 30 年 3 月 30 日にオープンした地区図書館。吹き抜けのエントランスホールや屋上のオープンテラス、隣接の公園との一体感など、開放的な空間が特徴。郷土資料室では、世界的な気象学者、藤田哲也博士の功績が紹介されている。

【な】 夏の日の 思いでたくさん アドベンチャープール

アドベンチャープール

北九州モノレールの企救丘駅の近くに昭和 60 年に開業した総合プール。6 種類のプールがあり、暑い夏の季節には、たくさんの人で賑わう。子どもから大人まで楽しめるレジャースポット。

【に】 にぎやかな 長野緑地の 草スキー

長野緑地

平成 15 年に開設。『人と自然を育む、体験・交流公園』をテーマに、地域の自然や歴史特性を生かし、「体験学習」「健やか交流」「環境保全」の 3 つのゾーンに分け、余暇活動と文化活動の広域交流拠点となるよう整備が進められている公園。

【ぬ】 貫山は 流麗な姿で 企救の富士

貫山

貫山は標高 712 メートルで、国内有数のカルスト台地である北九州国定公園の平尾台の北端に位置する。山頂からは周防灘を見渡すことができ、貫地区のシンボルとして企救富士とも呼ばれている。

【ね】 寝ずの番 石の羊が 煙見て

中谷の竹炭窯

平成 19 年に TOTO 株式会社の水環境基金の助成金で中谷の道原地区に竹炭窯を整備。荒廃した竹林の竹を伐採し、ヒノキやクヌギを植林する荒廃竹林再生事業と、伐採した竹で竹炭を製造、川の浄化や農作物の肥料に活用する竹炭製造の活用を行っている。

【の】 野焼き終え 石の羊が 目を覚ます

平尾台野焼き

平尾台に春を呼ぶ野焼きは、観光客の安全確保や害虫駆除、採草地改良、森林化防止、周辺山林への類焼防止などを目的に実施される。点在する石灰岩が羊の群れのように見える「羊群原」では、野焼きの後、新芽の息吹と未が目を覚ますような様子が伺える。

【は】 ばあちゃんの つくる合馬の たけのこごはん

合馬の竹の子ご飯

北九州市の竹林面積は約 1,500 ヘクタールにわたり、市町村単位では全国有数の広さを誇る。この豊かな竹林資源から美味しい竹の子が生産され、特に「合馬たけのこ」は、極上品として全国で有名。香り、味、歯ごたえとともに、最もおいしいといわれる孟宗竹で作った竹の子ご

飯は絶品。

【ひ】 ひえ田川 うろこかがやく にしき鯉

稗田川

稗田川は竹馬水系の一つで、毎年小中学生を対象に「横代釣り王選手権」が開催されている。横代北町付近では錦鯉も泳いでいて、上流ではホタルも鑑賞できる。

【ふ】 豊前海 一粒かきに ワタリガニ

カニ・カキ

栄養豊富な豊前海で育った「豊前本ガニ」と「豊前海一粒カキ」。「豊前本ガニ」は、産卵期の秋からが旬で、肉質には甘みがあり絶品。「豊前海一粒カキ」は、身入りがよく濃厚で大粒なのが特徴。

【へ】 幣を背に 舞う沼楽の 優雅なり

沼楽

方策と除疫を祈願する太鼓踊りで、半楽形式の 27 人で構成される。12 種類の太鼓踊りが行われ、扮装はカラフルで、手甲脚絆は紺、鉢巻の結び目の両端は赤、腰簔の下半身は紺、背中の幣は赤白紺の三色切り混ぜ、小幟は真紅となっている。昭和 33 年に福岡県無形民俗文化財に指定。

【ほ】 ホタル飛ぶ 志井の川辺で 夕涼み

志井川

志井川は、貫山を源に志井、企救丘、徳力校区を北流しながら紫川に流入している河川。春には桜、初夏にはホタル、徳力付近では錦鯉も泳いでいて、地域住民の癒しの場となっている。

【ま】 丸い葉の 大葉しゅんぎく ヘルシーだ

大葉しゅんぎく

採れたての「大葉しゅんぎく」は北九州でしか食べられないヘルシー野菜。葉のきざみがなく丸い葉が特徴で、やわらかく、アクが少なく、やさしい味。小倉南区で生産され、鍋はもちろん、生のままサラダにしても美味しく食べられる。

【み】 南区の 祭りといったら まつりみなみ

まつりみなみ

昭和 49 年、小倉南区発足を祈念して「小倉南民踊の夕べ」として始まった夏の一大イベント。「区民総参加」をスローガンに区民みんなでつくり、楽しむお祭りで、会場は志井公園。祭りの最

後を島くくる 2,000 人規模の「総踊り」と約 1,000 発の「花火」は圧巻。

【む】 紫川の 川のみなもと ますぶちダム

ますぶちダム

洪水調節、干害、上水道用水として作られた多目的ダムで、総貯水量は 1,360 万立方メートルの重力式コンクリートダム。周辺は緑の山々に囲まれ、登山、サイクリングなど、アウトドアに最適。ダムをぐるりと囲んだサイクリングロードは一周 10.3 キロメートルある。

【め】 眼鏡橋 匠の技が 光る石

春吉の眼鏡橋

大正 8 年に春吉の人々が寄付を出し合って建築した石造二連アーチ橋。橋のたもとの石碑には、春吉 58 人の寄付署名と寄付金額、石工の名前などが刻まれている。石材にはひん岩、輝緑凝灰岩など紫川の石が使用されている

【も】 モノレール 銀河鉄道 999

北九州モノレール

昭和 60 年に日本で初の跨座式モノレールとして開業。小倉駅と企救丘駅 8.8 キロメートルを 19 分で結び、昭和 55 年に廃止された路面電車・西鉄北方線の代替え機能も担っている。

【や】 山本の 漬物名人 今年こそ

漬物コンクール

漬物をつけている家庭が多い、中谷地区の山本で、開催されていたコンクールを平成 17 年度から中谷地区全体で開催している。来場者が審査員となり漬物名人を決定。同時開催の「漬物漬け方講座」は漬物歴半世紀以上の名人が漬け方を伝授し、中谷地区の味を伝承している。

【ゆ】 夢を乗せ 未来に飛び立つ 一番機

北九州空港

平成 18 年 3 月、旧北九州空港が移転し、開港。同年 8 月には、九州で初めてとなる 24 時間運用を開始。3 階展望デッキに隣接する足湯(有料)は、雄大な展望を同時に楽しむリラクゼーションスポットとなっている。

【よ】 横代の 農事センター ばらいっぱい

北九州市立総合農事センター

昭和 48 年に農業への新しい技術の導入と、営農問題の解決に指導的な役割を果たす施設として設置。約 70 品種 2,000 株を誇るバラ園や憩いの森、動物とのふれあい広場など、自

然と触れ合える施設となっている。

【ら】 ランドセル プチポザウルス 一年生

プチポザウルス

平成 15 年に誕生した“ちっちゃなボランティア活動”を応援する恐竜で北九州市社会福祉協議会のキャラクター。毎年、歳末助け合い運動募金の助成を受けて、小倉南区の社会福祉協議会が新小学一年生に贈っている黄色いランドセルカバーのデザインとなっている。

【り】 リラックス 菅生の滝で 深呼吸

菅生の滝

紫川の上流、道原の国有地内にある滝で、落差は市内で最大、上部の滝が最も高く、落差が約 30 メートルある。地名の「菅生」は、滝のしぶきで女性の化粧が落ちて「素顔」になることが由来!?

【る】 瑠璃色の 夜空に映える ふゆはなび

ふゆはなび

平成 21 年あら毎年、バレンタインデーに合わせて行われるイベント。心温める平尾台の冬の風物詩。音楽と花火・レーザー光線による幻想的な花火ショーが楽しめる。

【れ】 歴史ある 蒲生八幡 大鳥居

蒲生八幡神社

本殿、幣殿は、市内で最古級の神社建築。拝殿は池や石段と併せて明治後期に整備された社殿軍の様相をよく伝えている。本殿、幣殿、拝殿が独立して建つ社殿配置は、旧豊前地域に比較的多く見られる。平成 23 年に北九州市有形文化財に指定。

【ろ】 老若で 合馬の伝統 神楽舞い

合馬神楽

享保年間(1716～1763 年)合馬村に飢饉・悪疫が続き、大野八幡の神官の祈願で悪疫が治まったお礼に村人が他所から神楽を招いて合馬天疫神社に奉納したことが始まり。京都郡系神楽で舞振りの流麗さを特徴としている。現在は 16 番で約 2 時間の舞い。昭和 53 年に北九州市無形民俗文化財に指定。

【わ】 和牛なら 我らの自慢 小倉牛

小倉牛

小倉牛は黒毛の和牛で、鮮やかな霜降り、美しい色とツヤ、厳しい肉質検査を経て厳選したも

のだけに「小倉牛」のブランドが与えられる。旨みたっぷりの肉汁、舌の上でとろけるような柔らかさ、きめ細やかな絶妙な感触が、小倉牛の特徴。